Special Olympics Nippon Ehime

Orange Spirit

No.31

２０２０年　１１月１１日発行

特定非営利活動法人
スペシャルオリンピックス日本・愛媛
事務局／〒790-0967　松山市拓川町3番44号
ＴＥＬ／089-941-5630

「ガマン、している。でもやめない！」

米ジョンズ・ホプキンズ大学の集計によると、新型コロナウイルスの感染者が９月１８日世界全体で３０００万人を突破しました。６月２８日に１０００万人を上回った後、４４日で２０００万人になり、今回は３８日でさらに１０００万人が上積みされた形で、増加のペースは加速しています。死者は９４万人を超え、致死率は約３％だそうです。感染者がもっとも多い国はアメリカ。９月１８日現在、６６７万５５９３人でうち死者は１９万７３４４人という。最近の報道によれば、新型コロナウイルスの感染対策を軽く考え、ご自身マスクも着用していなかったトランプ大統領が陽性になり、迫ってきた大統領選への影響が懸念されています。

一方、わが国も毎日のように感染者数が報じられ、国民の多くは一喜一憂の日々が続いています。幸い愛媛県の場合、このところ感染者ゼロの日が続きホッとしています。しかし、「ＧｏＴｏトラベル」の実施で感染拡大の恐れを感じている人が少なくありません。この間ＳＯのアスリートの皆さんは、どのように過ごしているでしょうか？

ところで、子どもには遊びたい、のんびりしたい権利があることを知っていますか？子どもの権利条約３１条には、「休息・余暇・遊び・レクリエーション活動の権利および文化的・芸術的生活への参加権」が謳われています。子どもの日々の暮らしには、ホッとして休養したり余暇を楽しんだりする時間、仲間とともに遊び、芸術を楽しむ時間が必要なことを、大人たちはもっと自覚しなければなりません。ワクワク・ドキドキ活動が元気をつくるのです。アムネスティ日本支部主催「子どもの権利条約　翻訳・創作コンテスト」で最優秀賞を受賞した小口尚子さんと福岡鮮美さんの中学生コンビ（当時１４歳）。第３１条「遊び、遊ぶ、遊べ、遊んじゃえ！」を次のように訳しました。

『１　ぼくらは、ぐあいがわるいときや疲れたときは、もちろん休んでいい。勉強や仕事のあいまにだって、休みは必要だ。そしてヒマな時間もね。そういうときは、ぼくらの年に合った遊びをしたり、みんなでいろんな楽しいことをしたり、本を読んだり、絵を描いたり、何かを作ったり、スポーツをしたり、好きなようにしていいんだ。

２　ぼくらがそうやっていろんなことをするために、国はそれを大事にして、応援してほしい。そのためのチャンスが、みんなに同じようにいきわたるように、とかさ。』

（『子どもによる子どものための「子どもの権利条約」』小学館　１９９５）

このコロナ時代、感染防止策はもちろん大事なんだけど、ＳＯのアスリート仲間たちにも、スポーツの権利があるのです。だから、「何もできない」とあきらめるのではなくて、「じゃあ、できることは？」と考えてみよう。それが、「子どもと文化のＮＰＯアート３１」が作ったポスターの「がまん、している。でも、やめない！」という言葉です。

【　理事長　　山本万喜雄　】

フライングディスク強化練習会

９月１３日（日）愛媛県身体障がい者センター

愛媛県障がい者フライングディスク協会さんよりご案内を頂き、今治ブランチよりアスリート３名が参加。協会の方々の指導の下、アキュラシー競技、デイスタンス競技の練習に参加させて頂きました。

愛顔 e-ＳＰＯＲＴＳ　ＰＡＲＡ　ＳＰＯＲＴＳ　ＦＥＳＴＡ

９月２１日（月）

愛顔 e-ＳＰＯＲＴＳ　ＰＡＲＡ　ＳＰＯＲＴＳ　ＦＥＳＴＡに、今治ブランチ３名、松山ブランチ１名が参加。フライングディスク・ボッチャ、車いすレーサーの体験を行い、ボッチャ等まだ馴染めていない競技や、車イスレーサーの車輪をどれだけ早く回せるかという競技など参加者全員で楽しく挑戦出来た体験会でした。

またｅ－ｓｐｏｒｔｓ体験会もあり、ぷよぷよゲームを楽しみました。

第６回障がい者フライングディスク競技会

９月２２日（火）

ビバ・スポルティア・ＳＡＩＪＯにて参加者約４０名にて行われ、今治ブランチアスリート４名が参加。本番ではみんな緊張してしまい、アキュラシー競技（５メートル）で工藤君が決勝戦まで進みましたが、上位３名が１０枚パーフェクトの記録を出し、惜しくも入賞に届きませんでした。

今回も新しい出会いがあり、みんな気持ちのいい汗をかいて競技を終える事が出来ました。

【　今治ブランチ　】

陸上記録会

９月２０日（日）

西条ブランチ・陸上プログラムは、７月より感染予防(体温測定・アルコール除菌・ソーシャルディスタンス等)に気をつけながら、プログラムを再開いたしました。プログラムはもちろん競技会や各種マラソン大会が中止、延期になり、アスリートたちは、目標を失い、残念な思いの中で日々過ごしていたと思います。

今回記録会(９月２０日)が開催できたことは、皆を明るく元気にしてくれました。改めてスポーツが生活の一部となり、活力の原動力になっているのだと、アスリートたちのいきいきとした走りを見ながら感じました。今後は新しい生活習慣の中で、安心安全を考えながらプログラムを続けていきたいと思います。

スペシャルオリンピックス日本　オンラインマラソン２０２０にも参加・チャレンジしようと思います。

【　西条ブランチ　】

バドミントンプログラムの様子

バドミントン 10 月のプログラム（道後・身障者センター）の練習風景です。

コロナウイルスの為に月に1度位しか練習出来ないですが、アスリートは、一生懸命に練習に取り組んでいます。

【　松山・東温ブランチ　】

▲各コーチによる個人指導をしています。

▲　3コートを使用しての練習風景です。（手前から初級・中級・上級と分けて練習しています。）

新居浜ブランチ近況報告

新居浜ブランチは現在バドミントンプログラムのみ実施しております。

従来実施していた誰でも参加できる『ＡＳＯＢＯ』の活動は休止し、本来のバドミントンプログラムに移行しています。検温・消毒・ソーシャルディスタンスを守るため補助ネットは使わず１コートのみの使用とし、待ち時間は間隔を空けて椅子に座る様にしています。幸いアスリートが少ないので施設規定の人数制限は守れています。７月１９日から月に１回～２回実施しています。

アスリートの体力は低下していません。みんな元気です。

残念ながら水泳プログラムは市外者の利用は中止なので、西条ブランチのアスリートは参加できない為休止しています。再開された時のアスリートの泳ぎ方が心配されます。

また、新居浜独自で実施していた交流バドミントンも今年は見送りました。

少しでも早くコロナから解放されることを心待ちにしています。

【　新居浜ブランチ　村上澄子さん　】

育英会の活動に参加しました!

ボウリングの田中隆也さん、バドミントンの仲神可南子さん、競泳の福島千尋さんが所属する『伊予市手をつなぐ育成会』では、７月５日～自粛でお休みしていた活動を久しぶりに再会しました。

疫病退散を願い『あまびえ（仲神さん作画）』のうろこ作りとシトラスリボンのぬりえをしました。

ねがい事を書いたりシールを貼ったりと、短い時間でしたが親子で楽しみました。

なかなかの出来栄えに伊予市役所に飾っていただきました。

アスリートにとって余暇活動って大事な事なんだなと思った一日でした。　【　福島さん　】

《お知らせ》第１４回　ＳＯＮ・愛媛　松山湯築ライオンズクラブボウリング競技会１２月６日（日）を開催する予定です。コロナ過の中での開催なので、今回は愛媛のアスリートのみの競技会になります。

次回は、他地区のアスリートと一緒に競技会が開催できる事を願っています。　【　事務局　】

発行　　ＮＰＯ法人　スペシャルオリンピックス日本・愛媛
〒７９０－０９６７　松山市拓川町３番地４４号　日野学園内
ＴＥＬ・ＦＡＸ　　０８９－９４１－５６３０
Ｅ－mail:ehime@son. or. jp　　Ｈ．Ｐ http:／／www. son－e. com

※　このニュースレターの印刷は、富士ゼロックス四国株式会社様にご協力いただいております。